

平成30年3月第1回定例会 新年度予算はじめ39議案を審議



2月27日から3月14日まで

議会

No.208



自然劇場

議会に対するご意見
をお聞かせください。

お電話の場合

☎82-3111(内線150番)

E-mail の場合

gikai@vill.kijimadaira.lg.jp

発行：木島平村議会
編集：議会だより編集委員会

事をご覧ください。

予算の概要は、2～3ページの記

**一般会計当初予算
34億1800万円を可決**

平成30年度当初予算は、「予算決算常任委員会」（江田宏子委員長）を3日間の日程で開き、全議員で審査の結果、最終日の本会議において全会一致で原案可決となりました。
また、10項目の審査意見をまとめました。（33ページ）

平成30年度当初予算

平成30年3月第1回定例会が、2月27日から3月14日まで16日間の会期で開かれました。
今議会では、平成30年度当初予算（12件）をはじめ、平成29年度補正予算（9件）、条例（10件）、事件（4件）、人事（2件）、承認（1件）、発議（1件）計39件を審議しました。

平成30年度3月第1回定例会のあらまし

▼開会日（2月27日）

村長から「審査意見（12月議会）に対する村の対応」、「行政報告」及び「30年度施政方針」が述べられました。

また、予算案件をはじめとする35議案が上程されました。

▼予算審査特別委員会

（3月5日・6日・7日）

「平成29年度補正予算案」及び「平成30年度当初予算案」について、各課から説明を受け、質疑、審議等を行いました。

▼一般質問（3月9日）

6人の議員が、村政のさまざまな課題について質問しました。（各議員の質問要旨は5月号に掲載します）

▼常任委員会（3月12日）

各委員会に付託された条例、事件を審議しました。

▼全員協議会

（2月27日・3月14日）

村からの説明、報告及び質疑の他、議員間での報告・協議等を行いました。（主な内容は30ページ）

▼閉会日・採決（3月14日）

各委員長が委員会審査の報告を行い、採決の結果、全て原案通り可決、認定となりました。

引き続き、追加議案が上程され、採決の結果、承認案件はじめ4議案全て、承認、可決、同意、採択となりました。

他、可決した特別会計 当初予算額

※1万円未満四捨五入

・情報通信	5888万円
・学校給食	2092万円
・奨学資金貸付事業	884万円
・後期高齢者医療	5523万円
・国民健康保険	5億3060万円
・介護保険	5億6621万円
・観光施設	1億3175万円
・下水道	3億6380万円
・農業集落排水	1979万円
・高社簡易水道	5152万円
・水道事業会計	1億1885万円

条 例

10件

■情報通信施設条例の一部改正

機器更新(廃止)に伴う文言の整理、及び「広告手数料」を指定管理者が村長の承認を得て定めることができるようにするもの。

■条例の一部改正

地方税法の改正に伴う国保税額の一部改正ほか。

■過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正

過疎地域自立促進特別法の改正に伴い、対象業種について、情報通信技術利用事業(コールセンタ―)を廃止し、農林水産物等販売事業を追加するもの。

■地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税免除に関する条例の制定

「北信州地域基本計画」(北信地域6市町村と県などで組織する協議会で策定)に基づき、「地域経済を牽引する対象施設」を設置した事業者に固定資産税の課税免除を行うもの。

■介護保険条例の一部改正

3年ごとに見直される介護保険計画に基づき、介護保険料の適用期間を新たに「平成32年度まで」に改めるもの。なお、介護保険料はこれまでと同額。

■指定居宅介護支援の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定

4月から居宅介護支援事業者の制定権限が県から市町村に移譲されることに伴い、「事業の運営に関する人員等の基準」を定めるもの。

■後期高齢者医療に関する条例の一部改正

国民健康保険で「住所地特例」(※)を受けている方を後期高齢者医療でも適用できるようにするもの。
(※)他市町村の被保険者となる場合、当該市町村の負担軽減のため、前住所地の被保険者とする特例措置。

■農の拠点施設設置条例の一部改正

施設を「指定管理」から「村の直接管理」に変更し、専属貸付料及び利用料を定めるもの。

■消防団員等公務災害補償条例の一部改正

扶養手当の額変更(法改正)に伴う、扶養親族加算額の改正。

■特別職の職員等の給与の特例に関する条例の一部改正

村長、副村長、教育長の給与を5%削減するもの(平成31年3月まで)。

補正予算

9件

※1万円未満四捨五入

■一般会計(第10号)

補正額 2351万円減額。

(予算総額 34億2601万円)

主な歳出

(50万円以上の増額補正を抜粋)

○一般管理費

・防犯カメラの移設工事費

(樽川橋ポケットパークから)

中村交差点へ (56万円)

○農業振興費

・農業振興公社補助金(追加)

(259万円)

○除雪対策費

・出動増に伴う賃金(150万円)

○給食センター運営費

・スチームコンベクション

(蒸し器)購入(216万円)

ほか

その他

・地方交付税、国・県からの補助金、寄附金、諸収入等(実績)

(繰入金) ▲2650万円

・地方債の補正(実績)

(▲)1960万円

・林道清水水平線改良工事を来年度に繰り越して実施

(繰越明許費) 643万円

■情報通信特別会計(第4号)

補正額 1億1726万円減額。

(予算総額 2億7326万円)

・施設整備事業完了に伴う精算。

■国民健康保険特別会計(第5号)

補正額 17万円減額。

(予算総額 6億5708万円)

■介護保険特別会計(第5号)

補正額 1588万円減額。

(予算総額 5億8363万円)

■観光施設特別会計(第4号)

・リフト改修負担金として、木島平観光(株)で1割相当額を負担し、一般会計繰入金と同額減額。

(補正額の増減なし)

■下水道特別会計（第4号）

【補正額】 113万円減額。

（予算総額 3億5498万円）

■農業集落排水事業特別会計（第3号）

・予算を下回る見込みの使用料に一般会計繰入金を充当。

（30万円）

■高社簡易水道特別会計（第2号）

・消費税減額分を積立金に計上。

（15万円）

■水道事業会計（第6号）

・人件費の不足額及び固定資産の除去費を計上。

（55万円）

事 件

4 件

■辺地に係る公共的施設の

総合整備計画の変更

・辺地対策事業債を活用する計画（平成27年6月に策定）に、「高社山やまびこ駐車場整備事業（平成30年度実施・事業費2900万円）」を追加するもの。

■情報通信施設の指定管理者の指定

指定管理者（有）ふう太企画

【指定期間】 平成30年4月1日

から平成33年3月31日までの3年以内。

■クロスカントリー競技場の

指定管理者の指定

指定管理者 木島平観光（株）

【指定期間】 平成30年4月1日

から平成32年3月31日までの2年以内。

■字の区域の変更

・地籍調査事業に伴う穂高9区（内山の一部及び北鴨の一部）の「字」の変更。隣接する筆の字を同一の字とする必要があるため。

人 事

2 件

■教育委員会委員の任命（同意）

・任期満了に伴う任命。（再任）
佐藤秀雄氏（西小路）

■副村長の選任（同意）

・現副村長の辞任に伴う選任。
佐藤裕重氏（西小路）

承 認

1 件

■損害賠償の専決処分の報告

【賠償の理由】 中町展示館駐車場入口で、側溝のグレーチングが跳ね上がったことによるタイヤのパンク。

【損害賠償の額】 2万412円

発 議

1 件

■憲法9条の改憲については、慎重に議論を行い拙速な結論を避けることを求める意見書

視 察

山頂リフト降り場付近に設置された「高社山テラス・トイレ」を視察しました。

（3月11日）



議会全員協議会

説明や協議が行なわれた主な項目は、次のとおりです。

2月27日（火）

【村長提出案件】

- ◎老人福祉計画及び第7期介護保険事業計画策定
- ◎農業振興公社の運営状況と補助金の追加補正
- ◎道の駅ファームス木島平の今後の管理・運営

3月14日（水）

【村長提出案件】

- ◎人権擁護委員の推薦
- ◎本会議提出の追加議案の説明
- ・損害賠償の専決
- ・特別職の職員の給与の特例
- ・教育委員の任命
- ・副村長の選任

【議員のみ】

- ◎議会定例会の年間日程案
- ◎定例の全員協議会の開催日時 4月25日（水）
- ◎講師を招いての議員研修の開催 4月25日（水）
- ◎国内視察研修のテーマ・視察先
- ◎出席している会議等の報告



平成30年
第1回 臨時会
(2月7日)

承認
1件

■工事変更請負契約締結の
専決処分の報告

【内容】サッカー場に建設中のク
ラブハウス（平成28年度繰越事
業）の契約金額変更の専決処分。

【変更額】 8万6400円減額。

【減額理由】身体障害者に配慮し
た施設とするため、シャワー設備
を4か所から2か所に減らし、多
目的トイレを設置した。

補正予算
1件

■一般会計（第9号）

補正額 5685万円増額。

（予算総額 34億4951万円）

歳出（主な項目を抜粋）

○一般管理費

・全国中学校スキー大会（9人）、
インターハイ（6人）、全日本
スキー選手権（8人）、ジュニ
アオリンピック（20人）への
激励金増額。
（54万円）

○商工施設管理費

・馬曲温泉男性用露天風呂ろ過タ
ンクに亀裂が生じたことによる
更新工事費。（1042万円）

○除雪対策費

・今冬の豪雪対応のため、一般職
手当、修繕費、道路維持業務委
託料等を増額。（4573万円）

財源

・障害者福祉費は、国・県から
75%の補助金。その他は、地方
交付税を計上。

特別会計ほか

■情報通信特別会計（第3号）

■下水道特別会計（第3号）

■農業集落排水特別会計（第2号）

■水道事業会計（第5号）

・以上4特別会計は、年度当初か
らの事業執行が必要であり、入
札等の手続きを新年度前にでき
るようにするため計上。

人事
1件

■議会運営委員会委員長の選任

・議員の辞職に伴い不在となった
委員長を選任
・土屋喜久夫 議員

ノースビット
農人クラブとの懇親会

議会改革の一環として始めた
「各種団体との懇談会」の4回
目（2月26日）は「農人（ノー
ビット）クラブ」と行いました。
農人クラブは、若手農業者の
皆さんで結成された組織ですが、
現在、クラブとしての活動は特
に行っていないということでした。
参加者の皆さんから、日頃感
じている 農業の課題、意見を
聞かせていただきました。
課題としてあげられたのは、
・人手不足
・夏期は農業、冬期は：
・畑地の土地改良
・鳥獣害被害（電気柵の広域化）
など。

また、繁忙期に農業のお手伝
いをしている方の中には、農家
として移住してきたわけではな
く、冬期
のスキー
・スノー
ボードを
目的に移
住し、夏
期の働き
口として
農家のお
手伝いを
されてい
る方がい
るという
話も伺い、
人手の確保や移住につながるヒ
ントもいただきました。議会と
しても、今回挙げられた課題が
少しでも解決に向かうよう、村
へも働きかけていきたいと思っ
ます。



▽次回議会定例会の開催予定

6月定例会

5月31日（木）

6月15日（金）

▽請願・陳情の受付締切日

5月24日（木）

受付締切日は、議会開会日

の1週間前です。

早めに議会事務局へご持参
いただき、職員への説明を
お願いします。

「12月議会の審査意見」に対する村の対応

(主旨抜粋)

平成29年12月第4回議会定例会で出された「審査意見」に対する村の対応の報告です。

(2月27日本会議「諸般の報告」より)

【予算決算常任委員会】

○村税の滞納整理の努力は評価する。

今後も公平性の確保に向け、更なる徴収に努められたい。

対応 財産調査を行い国税徴収法・地方税法等に基づく滞納処分を行っている。
今後も厳しい姿勢で対応する。

○やまびこの丘公園内へ駐車場と進入路が新設され、入園料の無料化が検討されているが、投資効果、整備の優先順位等を現場関係者とも十分協議し、調整を済ませた上で事業に着手されたい。

対応 進入路工事は、計画時から十分に協議を行ってきた。また、指定管理者から無料化に向けた施設改修要望が提出され、その予算案を3月議会に提出している。
今後も、施設利用者の増加を図るため、連絡調整を密に行い、適切な維持管理、利用者のサービス向上に努める。

○村長の太鼓判の販路拡大に努力をされたい。また、木島平米の評価が高まっている一方、太鼓判のインパクトは薄れてきているので、実態を調査し、次年度以降の計画・戦略を検討されたい。

対応 昨年12月には都内で新米キャンペーンを開催、現在は、ラジオ等電波媒体での宣伝を展開中。今後もコンクール受賞効果を最大限に活用したPRと販路拡大戦略を進める。

○そばの減収を要因として、農業振興公社への補助金の増額予算が計上された。

「そば振興」の有効性を検証し、村の負担を増やさないよう、計画を再考されたい。

対応 遊休荒廃地対策として、そば栽培が最も適しており可能性があると考えている。
普及センター等の指導を得て機械畝立による播種等の技術的検証を行い、収量の確保や作業工程の見直しによるコスト削減などにより収益性の向上を図る。また、地域の観光との結びつき、特産品としての定着やイベント開催等での活用へとつなげていく。

○村有施設の老朽化による修繕費が年々増え、今後も増大が見込まれる。

想定外の出費を抑制できるよう、適正な管理に努められたい。

対応 村内施設は常に良好な管理を行うよう努めるとともに、将来を見据えて各施設の存廃について検討していく。

常任委員会審査意見

総務産業常任委員会

- 農の拠点施設の運営及び専属貸付にあたっては、真に農業振興及び地域経済の活性化につながるよう、計画的に事業を遂行されたい。

民生文教常任委員会

- スキーの村として、スキーに親しむ底辺人口の拡大は重要であり、小中学生の大会参加はもとより、練習のための支援も必要である。
小学校が進めるスキー部後援会の資金調達も村内全体の盛り上がりを進めるため、地域のスキー振興意識の醸成に格段の配慮をされたい。

予算決算常任委員会

【補正予算に対して】

- 前年度、台湾誘客に向けた視察を実施したにもかかわらず、今年度、台湾誘客の委託料が未執行であったことは残念である。
継続事業として効果をあげられるよう、担当課内で、職務分担や進捗状況を把握し、必要に応じてサポート体制を組むなど、計画的に取り組まれない。

【新年度予算に対して】

- 村の応援団としての「わせだいら等への交流活動支援事業」は評価する。
村民理解を得られるような運用規程を策定し、事業に取り組まれない。
- 持続可能な村づくりに向け、財政計画の見直しは喫緊の課題である。
経常的に不足する経費に目的基金や過疎債を充当しているが、将来にわたる健全な財政運営に向け、早急かつ抜本的に「各事業の検証や財政計画の見直し」に取り組まれない。
- 今後、一人暮らし高齢者の世帯数の増加が見込まれる。幅広い年齢層を対象とした婚活事業、交流の場の推進など、将来を見据えた対策に努められたい。
- 農業振興公社への補助金や集落支援員等の配置について、農業振興の観点から、その運用についてしっかり検証し、経営改善につながるようそのよう事業の精査をされたい。
- 今年度応募がなかった「都市交流推進の協力隊」を引き続き募集する計画だが、都市部の誘客拡大に向け、効果的に活動できる人材を採用されたい。
- 新鮮屋について、アンテナショップとして、特産品の販路拡大や誘客につながるよう調布市との積極的な連携、派遣職員の有効な活用に努められたい。
- 下水道事業について、財政の負担軽減に向けた検討は重要な課題である。浄化センターの包括委託を含め、あらゆる観点から、財政の負担軽減に向けた検討を早急に進められたい。